

1 テーマについて

日本は台風の通過する路に位置していて、毎年全国で被害がみられる。高知県は山が多いため水害や風害だけでなく、土砂災害の被害も多く受けている。しかし、地震などの被害に比べてあまり危険視されていない。そこで台風の危険さ知ってもらい、もし台風の被害にあった時のために、事前の対策をし、一人一人に台風を理解を深めてもらうことを目的に企画した。

SDGsとの関わりは、13『気候変動に具体的な対策を』である。SDGsの観点から事例などを調べ、台風の対策を考えていきたいと思う。また、その対策をポスターでより多くの人に知ってもらおうことをこのプロジェクトのテーマとした。

2 プロジェクトの目標と計画

7. 8. 9月 情報収集
(被害・対策について)

10. 11月 ポスター作成
(ポスターの構成作成・イラスト考案)

12. 1月 発表準備

3 プロジェクトの実施内容

風害

風害時に最も重要な注意する点を調べた。

強風時運転で特に注意する場所

- ・橋の上、海岸沿い
- ・トンネルの出入り口

↳横風を受けた場合でも、慌ててハンドルを切らない！

△横転に注意

川の氾濫

川の氾濫による、周辺地域への影響について調べた。

外水氾濫…堤防が決壊して起こる現象。

内水氾濫…大雨が地表にあふれること。

↳大雨警報が解除されても、上流で降った大雨の影響で洪水警報が発表され続けることがある。

雨が止んだかといっても油断せず、警報や指定河川洪水予報に十分注意する。

土砂災害

3つの土砂災害についてそれぞれの違いと前兆を調べた。

土石流…土砂が集中豪雨の影響によって押し流される現象。時速20~40kmにもなる。

〔前兆〕…溪流の水位が急に減少する。

崖崩れ…斜面が雨水の浸透や地震などの影響で突然崩れ落ちる現象。

〔前兆〕…斜面から何かが落ちてくる。

地すべり…斜面が地下水などの影響によって斜面下方に移動する現象。

表層崩壊と深層崩壊がある。

〔前兆〕…木が傾く。

評価基準1 日本の台風とその対策についてポスターを作成する。

1 被害と対策の情報収集ができた。

2 1の情報をまとめることができた。

3 ポスターの大まかな構成ができた。

4 台風の被害と対策の情報収集したものをまとめ、構成のしっかり立ったポスターを作成できた。

評価基準2 ポスターを作成するための計画を立て、実行する。

1 計画が大まかで実行できていない。

2 計画を立てたが、半分しか実行できていない。

3 計画を立て、8割実行できた。

4 綿密な計画を立てることができ、それを実行することができた。

4 プロジェクトの成果・まとめ

台風の被害と対策を知ってもらうためにポスターを作成。土砂災害・風害・水害の事例から情報を集め、対策を考えた。

5 今後の課題・展望

各教室に掲示しているポスターから、西高2年生の台風に対する危険度や対策についてどれくらい関心があるのか、アンケートなどを取って調査していきたい。またそれを基にして今後のプロジェクトに活かしていきたい。